

氏名は敬称を省略しています。各情報は希望者のみ掲載しています。

## 米 寿

(昭和7年9月生まれ)

氏名	(行政区)	氏名	(行政区)
佐藤 慶子	(町1区)	甲斐 健助	(原の口)
藏原 五月	(北2区)	小西 喜和美	(山田)
岩下 トシエ	(東1区)	岩永 タマエ	(黒流町)
河田 晴子	(東3区)	森 クミ子	(下役犬原)
嘉悦 奈美乃	(古神1区)	田代 ケサ子	(北黒川)
山口 キワ	(古神2区)	古島 幸子	(永草)
堀 恵子	(古城7区)	高藤 須賀夫	(永草)
佐渡 八重子	(内牧1区)	鎌倉 昭七	(狩尾3区)
野田 チサエ	(小里)	宮川 フジ子	(的 石)
児玉 ハツ子	(原の口)	小田 幹夫	(楢木野)

## 寄 付

阿蘇市社会福祉協議会 (香典返し)

(8月31日受付分まで)

寄付者	続柄	物故者	(行政区)
時田 道子	亡夫	勲	(古神2区)
杉本 よう子	亡母	玲子	(古神3区)
古閑 茂雄	亡母	フク子	(古 閑)
高木 徳子	亡夫	照一	(古 閑)
志賀 秀一	亡母	幸子	(古城4区)
岩下 栄一	亡父	鶴夫	(古城5の2区)
上野 今朝美	亡弟	五雄	(中 原)
菅 信也	亡母	哲子	(折 戸)
坂梨 啓二	亡妻	フミ子	(宇 土)
加来 哲也	亡母	カヨ	(原の口)
河崎 ヤスエ	亡夫	光誠	(上役犬原)
岩下 茂一	亡母	ヨシ子	(遊 雀)
工藤 幸子	亡夫	一男	(滝 水)

## 赤ちゃん

(8月31日受付分まで)

赤ちゃん	誕生日	パパ・ママ	(行政区)
西名 蒼真くん	7月25日	純一・瑛美	(宇 土)
宮本 律くん	7月27日	遥・美咲	(桜 町)
荒家 月ちゃん	8月1日	健・香奈	(北1区)
東 依央湊くん	8月1日	慶国・沙紀	(赤 水)
阿蘇品 颯人くん	8月2日	将太・貴美子	(北2区)
甲斐 彩夢ちゃん	8月2日	瑞紀・千穂	(古城2区)
松本 蒼生くん	8月4日	大輔・祐子	(東2区)
長町 妃那乃ちゃん	8月6日	弘・美華	(的 石)
八木 咲舞ちゃん	8月7日	誠太郎・美咲	(古神3区)
山川 史乃ちゃん	8月8日	和久・麗	(古神2区)
松岡 陽葵ちゃん	8月10日	堅太・美香	(内牧5区)
佐藤 美津璃ちゃん	8月12日	貴司・福美	(古神3区)
川上 凜子ちゃん	8月20日	龍馬・里沙	(西小園)
木下 珀くん	8月23日	佳樹・千夏	(上西黒川)
山本 鈴葉ちゃん	8月24日	大輔・沙耶	(狩尾3区)
橋本 皇稀くん	8月25日	竜一・志保	(黒流町)

## 結 婚

(7月31日受付分まで)

夫	妻	(行政区)
井手 雄大	村上 星	(上井手)
花堂 祐樹	秦 真由佳	(内牧3区)
筑紫 裕之	上野 法子	(内牧5区)
家入 祐也	小野 奈津実	(的 石)

塗装・防水工事・メンテナンス



株式会社 井上

〒869-2302

熊本県阿蘇市三久保448番地22

web <http://www.aso-inoue.com/>

E-mail [info@aso-inoue.com](mailto:info@aso-inoue.com)



塗装内容

(屋根・壁・破風板・軒天・デッキ・塀・他)

防水内容

(雨漏れ調査・屋上・ベランダ・コーキング・他)

-お見積・調査 無料-

もしも 0967-32-1501

# ASO 田園空間博物館 (道の駅阿蘇)

## 狩尾の原野に巨大な扇

### ～扇切保存会の活躍～

**私** たちASO 田園空間博物館は、設立当初より「阿蘇の魅力」を、そこに住む人々と共に発掘し、この地を訪れる人々にそれを伝えることとこの地の新しい未来を創造していく」という活動が続けてきました。その中で活動の主軸となっていたのが地域資源である「サテライト」です。現在、95のサテライトが登録されており、市民のみならずと共将来に繋いでいくための活動を行っています。

今回は、明治時代末期から作られている「狩尾の扇」(狩尾)についてご紹介します。

毎年8月のお盆前になると、阿蘇市狩尾の北外輪山の原野にある、通称「扇平」の斜面に幅約70メートル、縦約50メートルの巨大な扇が姿を現します。

この巨大な扇づくりがどうして始まったのか、はっきりとしたことは分かっていませんが、地元の話によりますと、明治時代末期に狩尾の一里山隣保班が始めたといわれています。

扇の形には、田畑の害虫を風で払う、牛馬の安全を願う、疫病退散、五穀豊穡といった意味があるそうで、農薬がない時代は害虫が発生した際、扇で追い払ったと伝えられていることに由来するのではないかと考えられています。

戦時中から昭和40年代にかけて一時中断しましたが、昭和52年に狩尾3区内の一里山隣保班が復活させました。その様子はNHKでも全国放送されました。

その後、若者の減少により平成6年から狩尾3区全体で扇切りを行うようになり、さらに平成9年より狩尾3区有志によって「扇切保存会」を立ち上げ、扇切りを継承しています。

現在の扇切保存会は20代から70代の男性25名が所属しており、毎年8月の第1日曜日に扇切りの作業を行います。

今年の作業は8月2日に行われました。午前5時半、狩尾3区にあるJA倉庫に保存会のメンバーが集まりました。その後、「扇平」の麓まで車で移動し、次に刈り払い機などの機材を担ぎおおよそ30分かけて標高約750メートルある扇まで牧野を登っていきます。

「扇平」の頂上で一度集合し、保存会会長から作業時の注意などの説明があった後、作業開始となります。

作業中に扇の形を確認したり、大きさを測ったりということは行いません。昨年刈り取った草の僅かな跡と、長年の経験と勘を頼りに各人が刈り取っていきます。また、作業担当場所をその都度話し合ったりということもありません。長年作業を行っているうちにそれぞれの担当場所がおおよそ決まったのだそうです。

扇の場所はかなりの急こう配。比較的なだらかな部分でも傾斜角度が30度近くあります。30度というと、草に足をとられたり、風にあおられたりするとすぐに身体のパラソスを崩して倒れてしまう角度。熊本地震で1メートル以上陥没した箇所もあり、ケガをしないよう、刈り払い機での作業には細心の注意が求められます。

また、特に勾配が急なのが扇のなめ(根本)の部分。ここは、保存会メ

ンバーの中でも限られた人しか作業  
 をすることが許されていないそうで  
 す。刈払い機を用いた作業の後、  
 今度は2メートルを越える長さの  
 竹竿を用いて、短く刈り上げた草の  
 向きを整える作業を行います。刈り  
 取った草をまんべんなく広げること  
 で、ムラのない美しい扇の色に仕上  
 げることが出来ます。

作業を開始しておよそ1時間、

7時半には作業が一段落しました。  
 いつもなら、その後牧野に登らず待  
 機していたメンバーが麓から扇の様  
 子を確認し、携帯電話を使って微調  
 整を指示しますが、今年は雲海が発  
 生していたため、麓からの確認がで  
 きず、雲海が消えるまで待機してか  
 らの作業となりました。幻想的な雲  
 海の景色のなか、麓メンバーからの  
 確認の連絡を待ちます。



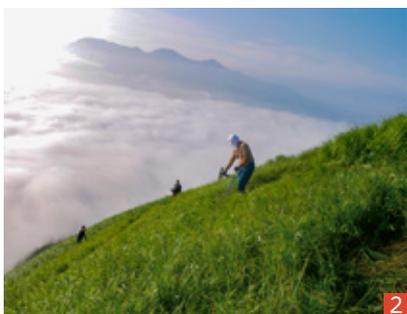
3



1



4



2



5

- 1 機材を担いで山を登るのは一苦労です。
- 2 この日は見渡す限りの雲海が広がっていました。
- 3 勾配が急な場所での作業。チームワーク力が欠かせません。
- 4 美しい扇に仕上げるため、竹竿で草の向きを整えます。
- 5 扇切保存会メンバー

8 時過ぎ、作業は終了し勾配がな  
 だらかな場所まで移動し、各自持参  
 した弁当で朝食をとった後下山。今  
 年の作業は終了しました。

例年ならその後、反省会を兼ねた  
 食事会を行うのですが、今年はコロ  
 ナウイルス感染拡大防止のため残念  
 ながら中止となってしまいました。

扇切保存会会長の鎌倉昭幸さん  
 (狩尾)によると、「扇切りは一時中断  
 した時期があったものの、明治から  
 狩尾に伝わる歴史ある行事。田畑の  
 害虫除けや牛馬の安全、五穀豊穡や  
 健康を祈って続けてきたものです。  
 熊本地震の年でも中止にはしなかつ  
 た。今年はコロナ収束を願う意も込  
 んで実施しました。作業は屋外で密  
 にもならないし、地域の伝統を守り  
 たいと思った。今年も例年同様出来  
 栄え良く扇切りができたと思ってい  
 ます」

「刈り取った草の色が変わる3日後  
 くらいからが扇の見頃。冬に雪が積  
 もった景色も見事です。今年もJR  
 豊肥本線の全線開通や国道57号、二



扇切保存会の  
 鎌倉昭幸会長

重峠トンネルも開通する。列車の車  
 窓からも扇はよく見えるので、観光  
 の目玉の一つになっていけばいいと  
 思う。扇の姿を見て阿蘇が元気であ  
 ることを伝えたい」と話されました。

## サテライト募集中!

「サテライト」とは、市民の皆  
 さまが「地域の宝」として守り  
 続けている自然、景観・風景、歴  
 史・文化のことです。

ASO田園空間博物館では、  
 サテライトを募集しています。  
 興味のある人はお気軽にお問  
 い合わせください。私たちと一  
 緒に元氣な阿蘇を創っていき  
 ましょう。

☎ 35・5077  
 田園空間博物館

スタッフ

フランク

